

## 令和6年度 学校関係者評価委員会

開催日時 令和6年11月6日(水) 16時～17時30分

開催場所 鹿児島県医療法人協会立看護専門学校

参加者	学校評価委員	外来講師	1名	実習先病院	2名
		外来講師・卒業生	1名	卒業生	1名
		保護者	1名	地域	1名
	学校側	副校長	教務主任	事務長	教務事務

### ○令和5年度学校自己点検自己評価の説明

自己点検・自己評価・大項目の平均値の低い「財務」と「社会貢献」について説明。

#### 【財務】

- ・学校施設の整備で昨年は冷暖房の修繕を行った。
- ・40名定員のところ一年生は26名の入学で、学費による収入が減少した。

#### 【社会貢献】

- ・コロナが5類に移行したが、病院実習もあるため、対外的なボランティア活動は制限していた。

### ○学校の現状報告

- ・一年生の入学者は減少した。少子化や大学志向等社会要因も関係している。学生確保は本校だけの問題ではない。
- ・来年度の学生確保に向けて、オープンキャンパスを年2回実施。市電への広告掲載等本校を知ってもらう活動から取り組んでいる。

### ○議案

#### 1) 学生募集について意見交換

- ・補助金等の経済的支援をもう少しアピールした内容を入れたらどうか。
- ・経済的な支援の具体的な金額を掲載したらどうか。社会人の場合と新卒学生の場合とケースごとに掲載する。
- ・パンフレットを文字がぎっしりではなく、写真等を増やし文字は少なめにする。学校に来てもらうことにつなげるようにした方がよい。
- ・Instagram等のSNSを活用する。
- ・広報活動に学生の意見を取り入れる。
- ・オープンキャンパスの開催時期をもう少しリサーチして実施したらよい。
- ・病院では写真やSNSの内容を各部署からもらい、人事課でチェックして掲載している。
- ・小学校・中学校のホームページは管理職が管理している。どこかで集約することが必要。

- ・調べものも気軽にインターネットの利用ができる環境なので、個人情報に気をつけながら SNS を活用するのがよい。
- ・高校生のニーズを知るといいう意味でも、学校で行っている探究活動で医療に関わる研究をしている生徒が、研究の一環で本校にきてもらい看護にふれる機会をもつような取り組みがあってもいいと思う。
- ・オープンキャンパスの回数を増やすのはいいと思う。学校の情報を発信できる。
- ・自分の娘は、オープンキャンパスが終わった時期に、学校見学を対応していただき受験をきめた。学校見学を実施してくれるのもいい。
- ・Instagram の内容も現在パンフレットに掲載している内容を発信してもいいのではないかな。
- ・病院見学の中学生を受け入れる機会があり、看護の5年課程の学校もあるので看護の魅力を伝えるのは高校生では遅いのでは。小学生や中学生に看護の魅力を発信する必要があるのでは。
- ・地域貢献の一環で小学校とかに出かけて看護の魅力を伝える機会も良いと思う。こちらから地域などに出向き看護の魅力を伝える機会も必要である。

#### 地域の方より〈中山地区の現状について説明〉

- ・交通のアクセスが悪い。バスの便が少ない。
- ・JA が 1 1 月 2 2 日に谷山北公民館横に移転オープンする。
- ・学校の周辺もこれから新築住宅が増えていく。
- ・中山・福平・吉野と子どもが増えている。
- ・地域住民は学校に関心を持っている人も多い。

#### 学校より

- ・Instagram や SNS の発信に取り組みたいと思うが、どうしても学生のプライバシーの問題があるので積極的に取り組めない現状である。
- ・高校訪問は、高校の進路指導や三年生担当の先生を訪ねていき、看護系志望の生徒がいなか話を聞く感じで行っている。
- ・高校生と直接接するという機会では、みらいワーク（1 2 月開催）という県主催の就職・進学フェアへ参加している。
- ・今年度は、オープンキャンパス参加者や学校見学参加者は、入学検定料を無料にしている。実際に学校をみてもらって、受験して入学してもらうことにつながっていくようにしたい。

#### ○次年度に向けての確認

- ・パンフレットや広報を Instagram など取り入れながら進めていけるようにする。
- ・地域との交流や中学生・高校生との交流についても他の看護学校と協力して交流できる機会を検討する。
- ・オープンキャンパスの開催も回数や時期を再検討する